『出簡調』で現地調査！
～計画、調査、成果品出力～

株式会社マプコン

目次

1. はじめに 1

1.1. 本書の目的 1

1.2. 事前準備 2

2. 『出簡調』での調査計画から成果品出力まで 3

2.1. 完成品テンプレート 3

2.2. 作業の手順 5

2.3. ステップ 1-①「Dekacho 設定管理ツール」で定義ファイル作成 6

2.4. ステップ 1-②「プロジェクト生成ツール」でプロジェクト生成 11

2.5. ステップ 2「Dekacho2」で調査 13

2.6. ステップ 3「Excel ツール（オプション）」で成果品出力 15

3. 『出簡調』のカスタマイズ機能・PC-MAPPING との連携 17

3.1. 「Dekacho2」メニューのカスタマイズ 17

3.2. Dekacho.ini ファイルを用いたカスタマイズ 17

3.3. PC-MAPPING との連携（オプション） 18

4. おわりに 19

4.1. 各種マニュアルのご紹介 19

4.2. お問い合わせについて 19

1. はじめに

1.1.　本書の目的

本書では、『出簡調』を用いた調査について、計画から成果品の出力までの一連の流れを紹介します。調査計画については、空き家調査を事例に、実際に調査項目の設定などを体験して頂きます。

『出簡調』には多くのカスタマイズ機能があり、それぞれの調査に適したシステムを自ら構築することができます。しかし、それらの豊富な機能を使いこなすには、多少の「コツ」が必要となります。

「これから『出簡調』を使って調査したいけど、何から始めたらいいか分からない…」「マニュアルを読んでみたけど、ちんぷんかんぷん」という方は、まずこのテキストを読み、出来れば同じように操作してみてください。具体的なイメージが湧き、実際の業務をスムーズに進めることができるはずです。また、「『出簡調』の使い方には慣れたけど、もう少し細かい設定をしてみたい」という方にとっても役立つ情報をちりばめています。

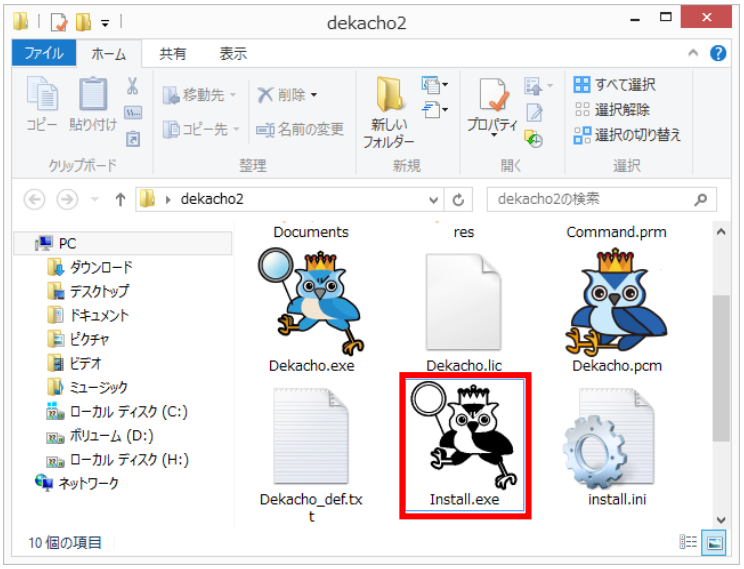
本書があなたの調査の成功に役立つことを願ってやみません。

1.2.　事前準備

まずは『出簡調』を利用するための環境を整えましょう。

①　『出簡調』をインストールします。

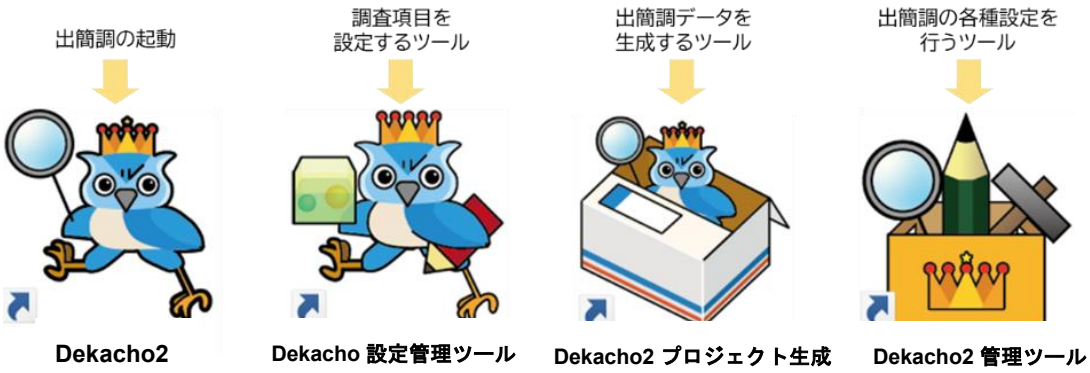
ダウンロードフォルダ内の Install.exe をダブルタップし、インストーラーを起動します。



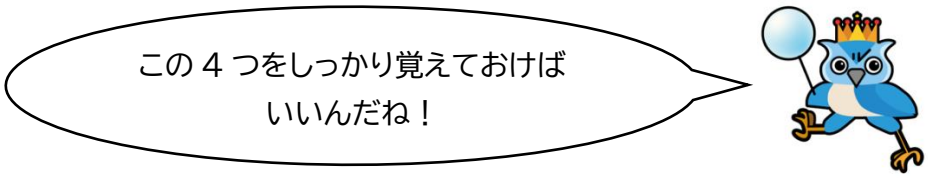
インストーラーの流れに沿ってインストールを完了させてください。

（『出簡調_管理設定マニュアル』p4～7）

②　『出簡調』では、主に以下の**４つのアプリケーション**を使用します。



- **Dekacho2**
- **Dekacho 設定管理ツール**
- **Dekacho2 プロジェクト生成**（Dekacho2 新規プロジェクト生成ツール）
- **Dekacho2 管理ツール**（基本設定）



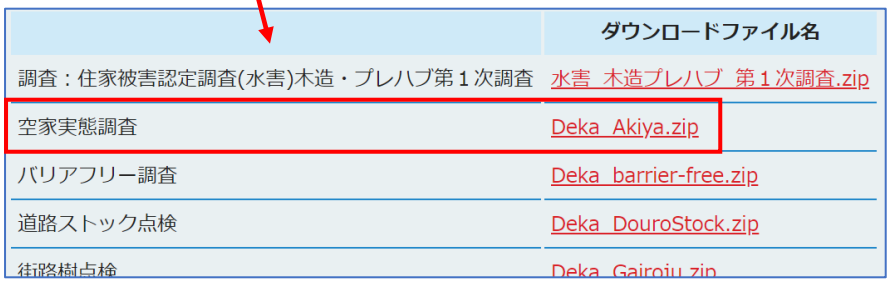
2. 『出簡調』での調査計画から成果品出力まで

この章では、『出簡調』を使った調査計画から実際の調査、成果品の出力までの流れを説明します。特に調査計画については、空き家調査を事例として、調査項目の設定を実際に体験します。難しく感じるところもあるかもしれませんが、一つずつチャレンジしてみましょう！

2.1. 完成品テンプレート

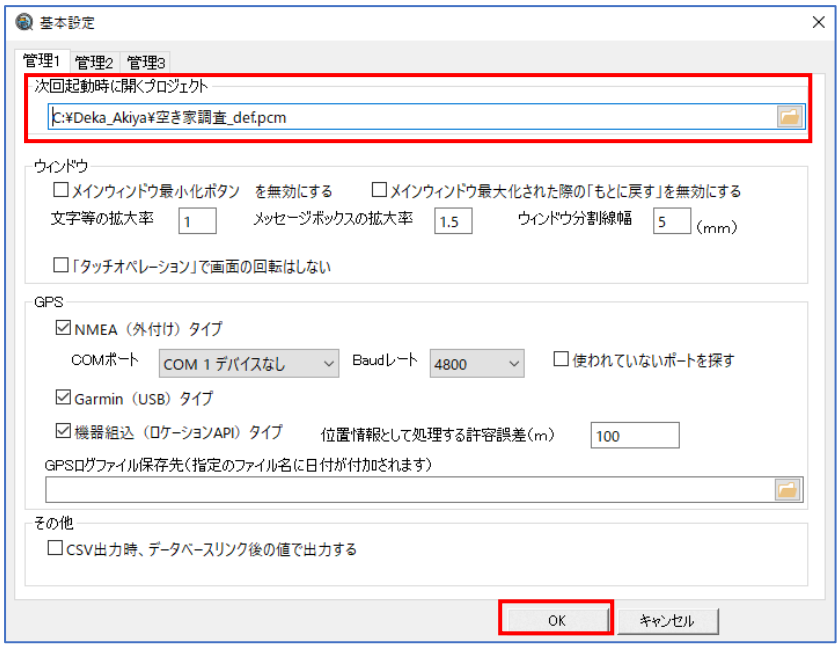
本書で作成する空き家調査の調査用データ（定義ファイル＋調査用プロジェクト）は、『出簡調』HP（https://www.mapcom.co.jp/deka2/download.html）からダウンロードすることが出来ます。まずは、このテンプレートを「Dekacho2」で開いたときにどのような見た目になるのかをチェックしてみましょう！

① 「テンプレート集」の「空家実態調査」ダウンロードファイル名をクリックし、ダウンロードしてください。
「テンプレート集」には、ほかにも「バリアフリー調査」や「道路ストック点検」など様々な調査に使える調査用データのサンプルをご用意しておりますので、ぜひご活用ください。



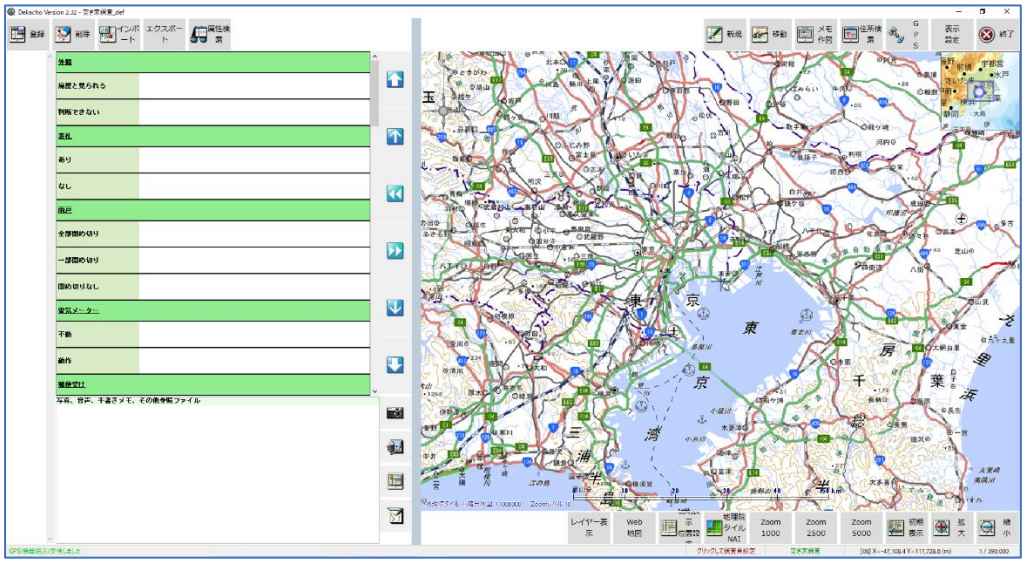
	ダウンロードファイル名
調査：住家被害認定調査(水害)木造・プレハブ第１次調査	水害_木造プレハブ_第１次調査.zip
空家実態調査	Deka_Akiya.zip
バリアフリー調査	Deka_barrier-free.zip
道路ストック点検	Deka_DouroStock.zip
街路樹点検	Deka_Gairoju.zip

② 「Dekacho2 管理ツール」を開きます。



「次回起動時に開くプロジェクト」を、先ほどダウンロードした「空き家調査_def.pcm」とし、OKボタンをクリックします。

③ 「Dekacho2」を起動すると、テンプレートの調査用プロジェクトを開くことが出来ます。



ぜひ調査項目欄や地図、各種ボタンをいろいろと触って試してみながら、完成品のイメージを膨らませてください！
次のページから、この調査用プロジェクトと同じものを一から作成していきます。

2.2.　作業の手順

以下の手順で作業を進めていきます。

ステップ１：調査計画

①　「Dekacho 設定管理ツール」で定義ファイルを作成する。

②　①をもとに「Dekacho2 プロジェクト生成」で調査用プロジェクトを作成する。

ステップ２：調査実施

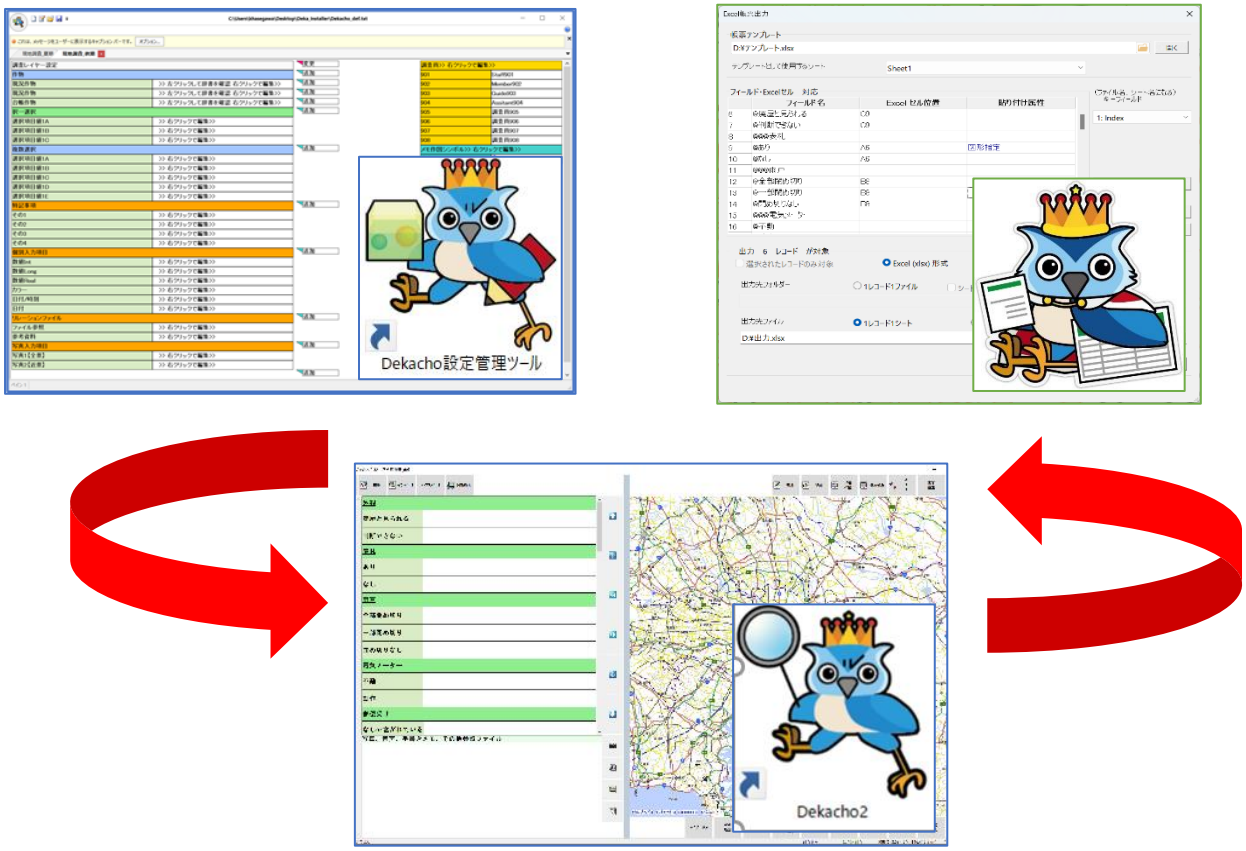
「Dekacho2 管理ツール」で、開きたい調査用プロジェクトを設定する。

ステップ１で作成した調査用プロジェクトを「Dekacho2」で開き、実際に調査を行う。

ステップ３：成果品出力

ステップ２の調査結果の様式を確認し、「出簡調 Excel ツール（有償オプション）」で成果品として出力する。

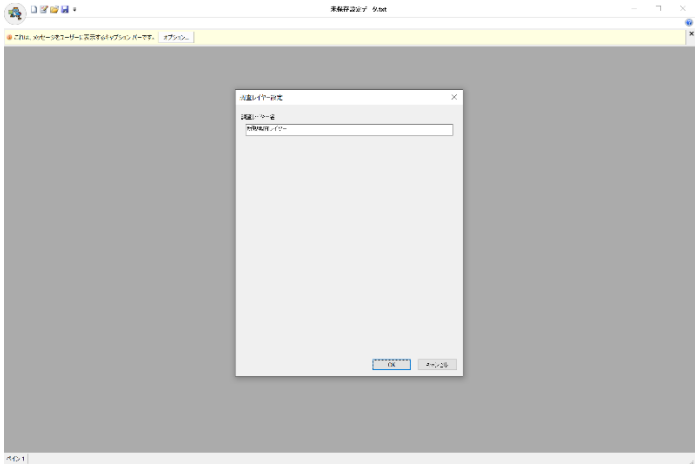
イメージ図：



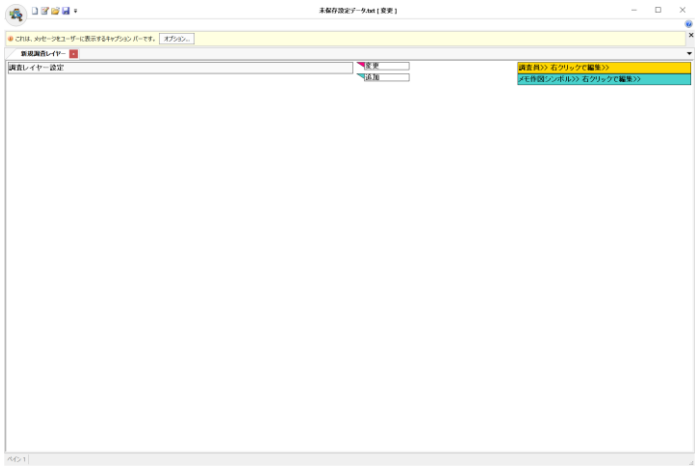
2.3. ステップ 1-①「Dekacho 設定管理ツール」で定義ファイル作成

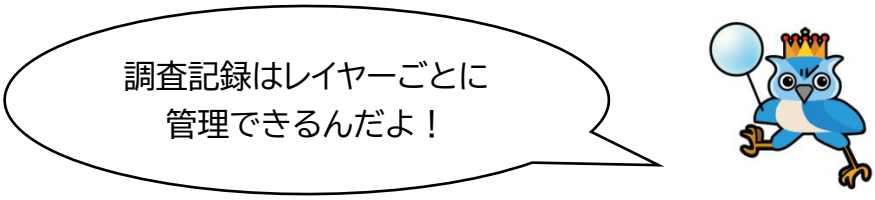
『出簡調』は、特定の調査に限らず様々な調査に利用できる汎用的なソフトです。そのため、利用するには個々の調査に合わせた事前の設定が必要不可欠となります。ここでは「Dekacho 設定管理ツール」を使って、調査の根幹となる調査項目の設定を行います。

① 「Dekacho 設定管理ツール」を起動してみましょう。



起動すると上図のような画面が開きます。「調査レイヤー名」に任意のレイヤー名を入力し、「OK」をクリックすると、メイン画面に切り替わります。





② それでは、肝心の調査項目を設定していきましょう。
はじめにダウンロードしたテンプレートは、以下のような構成になっていました。

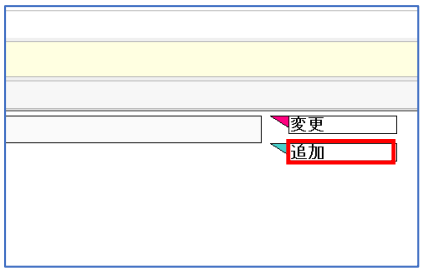
調査項目名	内容	備考
外観	「廃屋とみられる」or「判断できない」	
表札	「あり」or「なし」	
雨戸	「全部閉め切り」or「一部閉め切り」or「閉め切りなし」	
電気メーター	「不動」or「動作」	
郵便受け	「なし or 塞がれている」or「郵便物が堆積」or「郵便物は溜まっていない」	
生活状況	「洗濯物がない」「家庭用品等がない」「鉢植え・植栽がない」	複数選択可
建物	「一戸建て」or「長屋建て」or「共同住宅」	
建物その他	「その他」	自由記述
構造	「木造」or「非木造」	
階数	「地上階数」	数値入力
外壁	「汚れあり」or「汚れなし」	
窓ガラス	「破損あり」or「破損なし」	
出入口	「侵入防止措置あり」or「侵入防止措置なし」	
門扉	「あり」or「なし」	
塀	「あり」or「なし」	
雑草	「手入れあり」or「手入れなし」	
外観	「外壁の一部に破損・崩れ」「屋根・瓦・トタン等に剥がれ」「窓台・物干し・バルコニーに崩れ」「塀が傾いている」「建物が傾いている	複数選択可
接道状況	「2m 未満」or「2m 以上 4m 未満」or「4m 以上」	
接道状況その他	「その他」	自由記述
備考	「備考」	自由記述

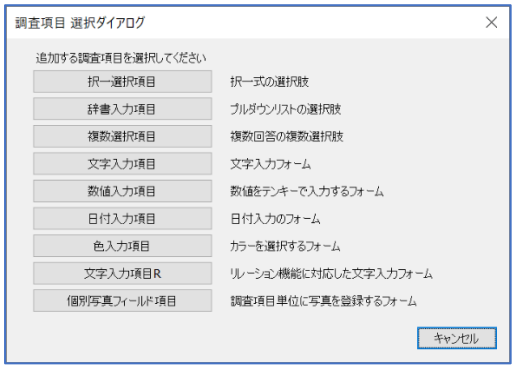
今回はこの表をもとにして調査項目を設定していきます。

～『出簡調』豆知識 ①定義ファイルはメモ帳で作れる！～

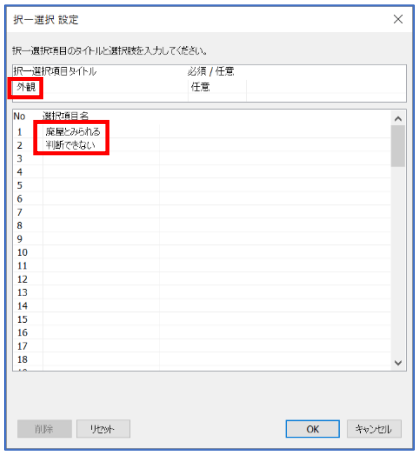
定義ファイルは「メモ帳」などのテキストエディタでも作成できます。軽微な変更の場合などは、「Dekacho 設定管理ツール」テキストエディタでの編集が便利かもしれません。（参考:『出簡調_管理設定マニュアル』「3.2.定義ファイルの作成（『設定管理ツール』）」）

③ レイヤー内の「追加」をクリックすると、「調査項目 選択ダイアログ」が開きます。

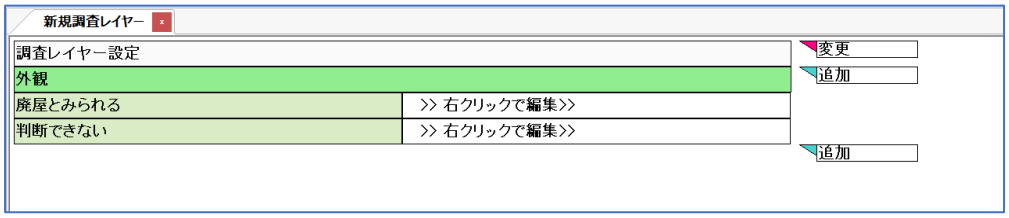




「Dekacho2」では、「択一選択項目」や「辞書入力項目」など、様々なスタイルの調査項目を設定することができます。テンプレートの１項目目「外観」は、「廃屋とみられる」「判断できない」のうちどちらかを選ぶ形式であるため、「択一選択項目」をクリックします。



択一選択項目のタイトルを「外観」とし、選択項目名欄に「廃屋とみられる」「判断できない」を入力して「OK」をクリックします。

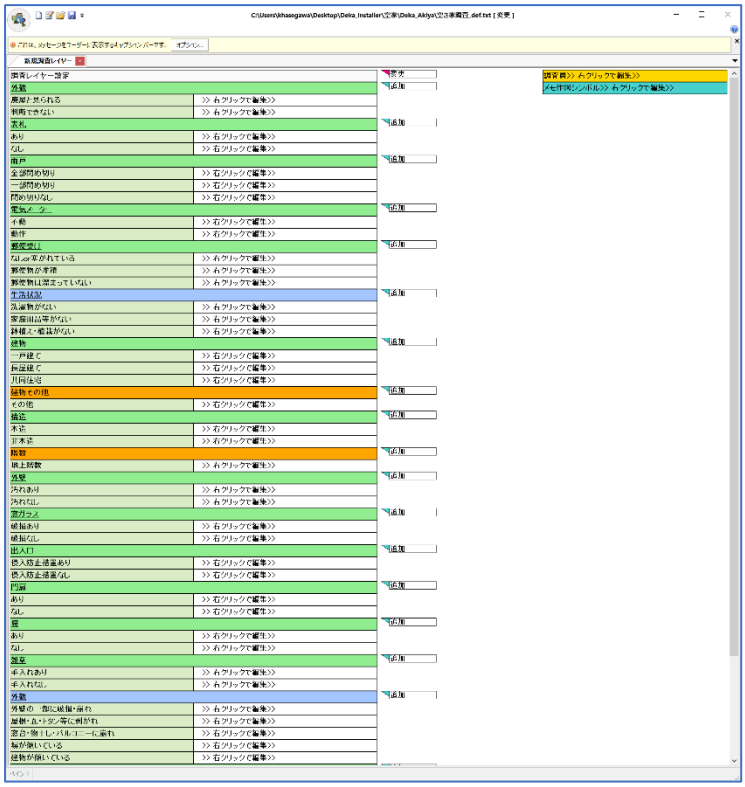


調査項目が設定され、レイヤーに追加されました。

続けて「追加」をクリックすることで、調査項目を追加していくことができます。

それぞれの項目の種類の詳細は、『出簡調_管理設定マニュアル』をご覧ください。

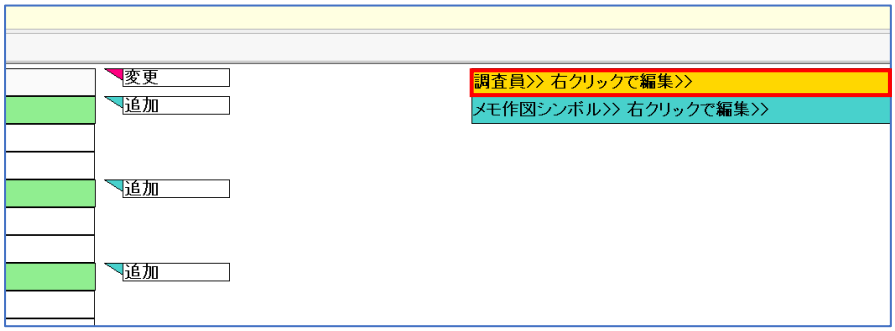
※「複数選択可」は「複数選択項目」、「自由記述」は「文字入力項目」、「数値入力」は「数値入力項目」を設定してください。

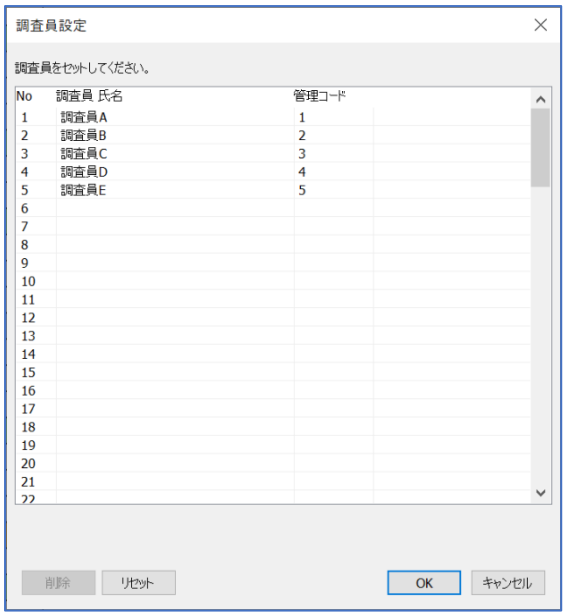


④ 調査員の設定を行います。

調査員を設定しておくことで、各調査員の調査結果を別々に管理することができます。

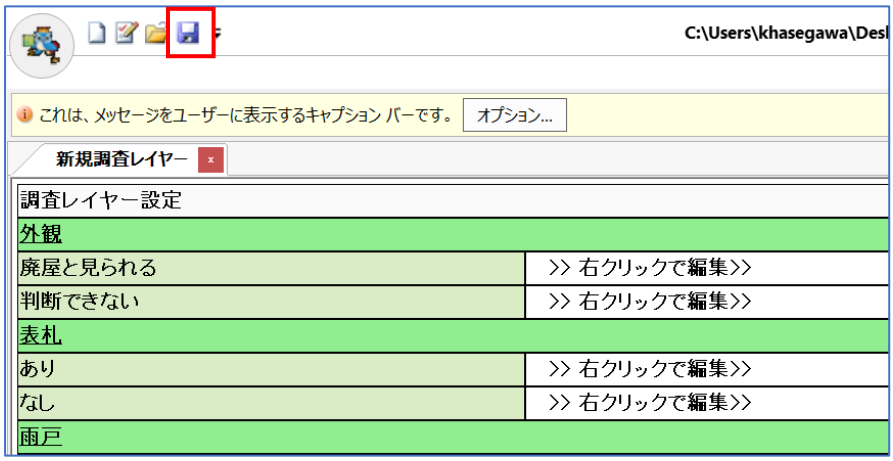
画面右上の「調査員」欄の右クリックメニューで「編集」をクリックすると、「調査員設定」ダイアログが開きます。





調査員の名前と ID は任意で設定してください。ここでは上図のように調査員 A～E、ID は 1～5 と設定します。

今回の調査の設定はこれで終わりです。お疲れ様でした！忘れずに保存して、「Dekacho 設定管理ツール」を終了してください。



～『出簡調』豆知識 ②メモ作図シンボルの設定～

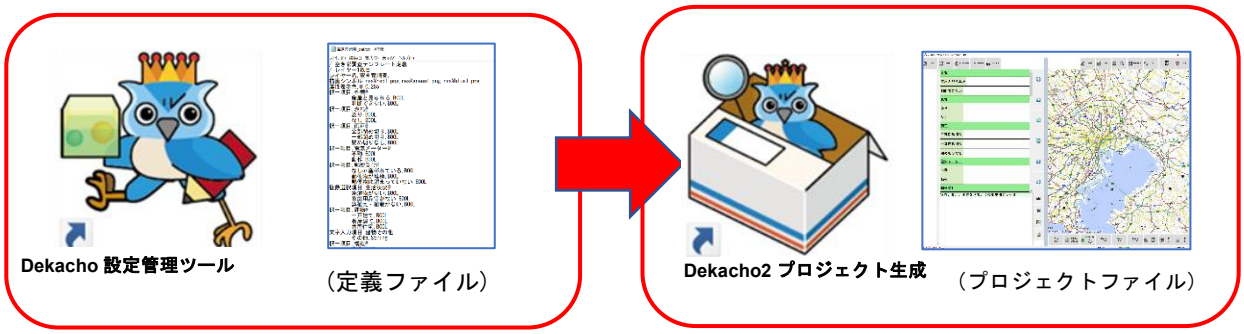
このテキストでは、調査項目と調査員の設定のみ説明していますが、「Dekacho 設定管理ツール」では、「Dekacho2」の「メモ作図」コマンドで地図上に追加するポイントのシンボルを設定する機能もあります。（参考：『出簡調_管理設定マニュアル』「3.2.定義ファイルの作成（『設定管理ツール』）」）

2.4. ステップ 1-②「プロジェクト生成ツール」でプロジェクト生成

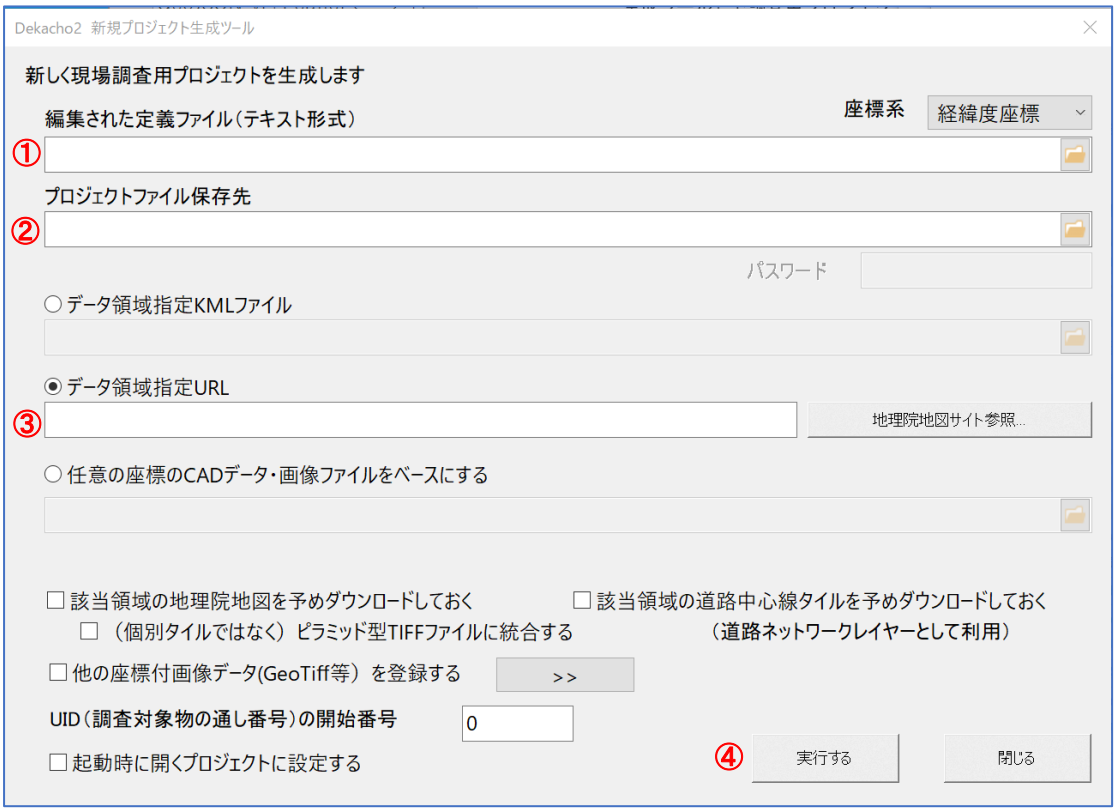
前項では、「Dekacho 設定管理ツール」を使って**『出簡調』で調査をする際の調査項目を設定しました。**

この設定内容は「定義ファイル」というテキストファイル（*.txt）の形式で保存されていますが、このままでは『出簡調』では扱うことができず、**調査用地図ファイルや詳細設定と合わせて**「調査用プロジェクト」とすることではじめて『出簡調』で扱うことができます。それでは、「Dekacho2 プロジェクト生成」で調査用プロジェクトを作成してみましょう！

イメージ図：



① 「Dekacho2 プロジェクト生成」をダブルタップして起動します。



ここでは、最低限必要な設定のみご紹介します。

① 「編集された定義ファイル（テキスト形式）」

前項で作成した定義ファイルを指定します。

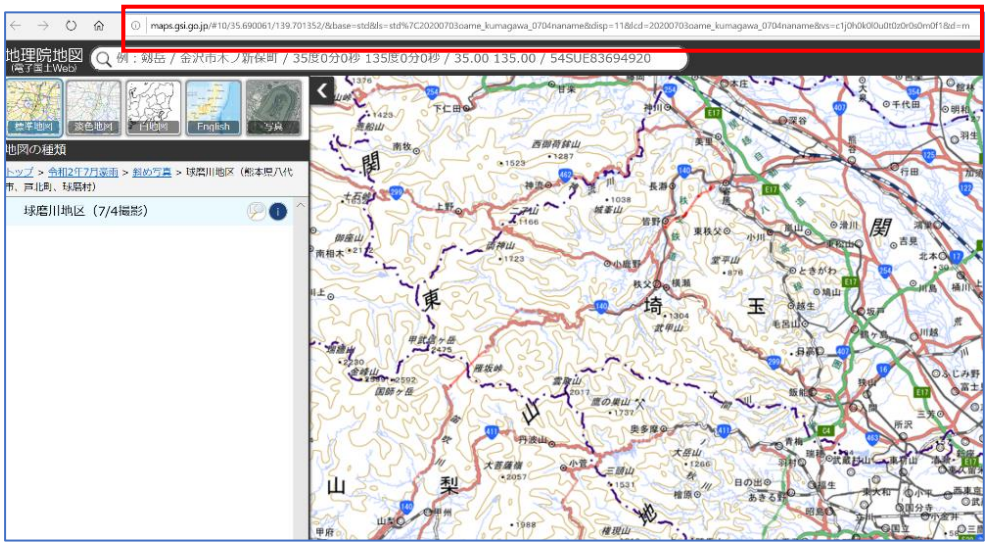
② 「プロジェクトファイル保存先」

「新規プロジェクト生成ツール」で生成した調査用プロジェクトファイルを保存するパスとファイル名を指定します。ここでは、ファイル名を「空き家調査.pcm」としてください。パスはどこでも構いません。

③ 「データ領域指定 URL」

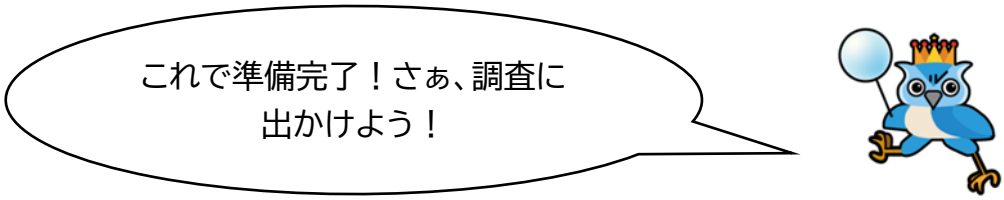
調査用プロジェクトに地理院地図を表示させる場合、「地理院地図」サイトを参照し、はじめに表示させる領域を指定します。

「地理院地図サイト参照…」ボタンを押すと、ブラウザが起動し「地理院地図」（http://maps.gsi.go.jp/）が開きます。



任意の領域に移動し、URL をコピーして③に貼り付けてください。

② これで設定は完了です！④「実行する」ボタンをクリックすると、②で指定した場所にプロジェクトファイルが生成されます。

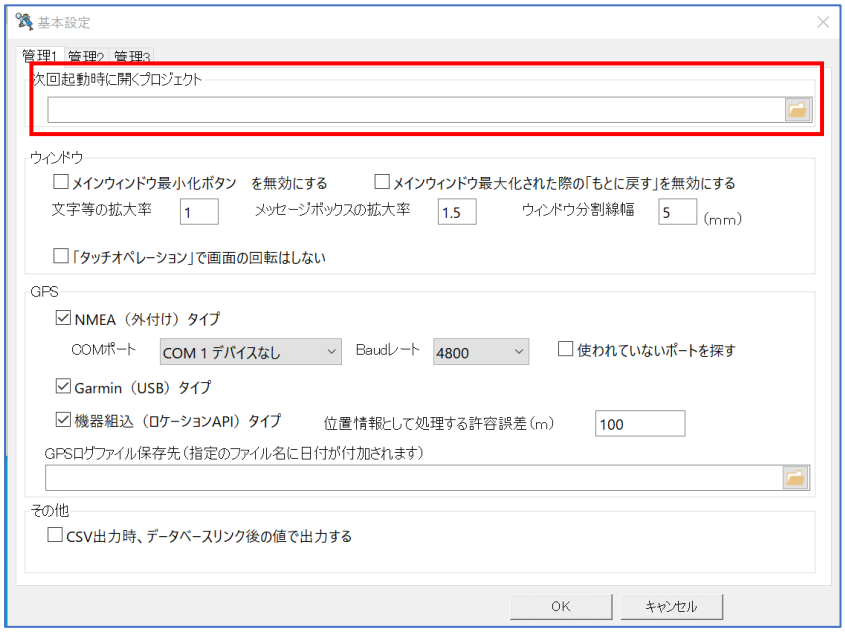


2.5. ステップ 2「Dekacho2」で調査

前項までに調査の計画段階にあたる、定義ファイルの作成と調査用プロジェクトの生成を行いました。これを使って、さっそく調査をしてみましょう！

① まず、ここまでに作成した調査用プロジェクトを開き、内容を確認します。
「Dekacho2」では、起動時に開くプロジェクトを事前に設定する仕組みとなっておりこれによって起動する度にプロジェクトを手動で開く手間を省いています。
この起動時に開くプロジェクトの設定は、「Dekacho2 管理ツール」で行うことができます。
管理ツールでは他にもさまざまな設定を行うことができます。

② 「Dekacho2 管理ツール」を起動します。

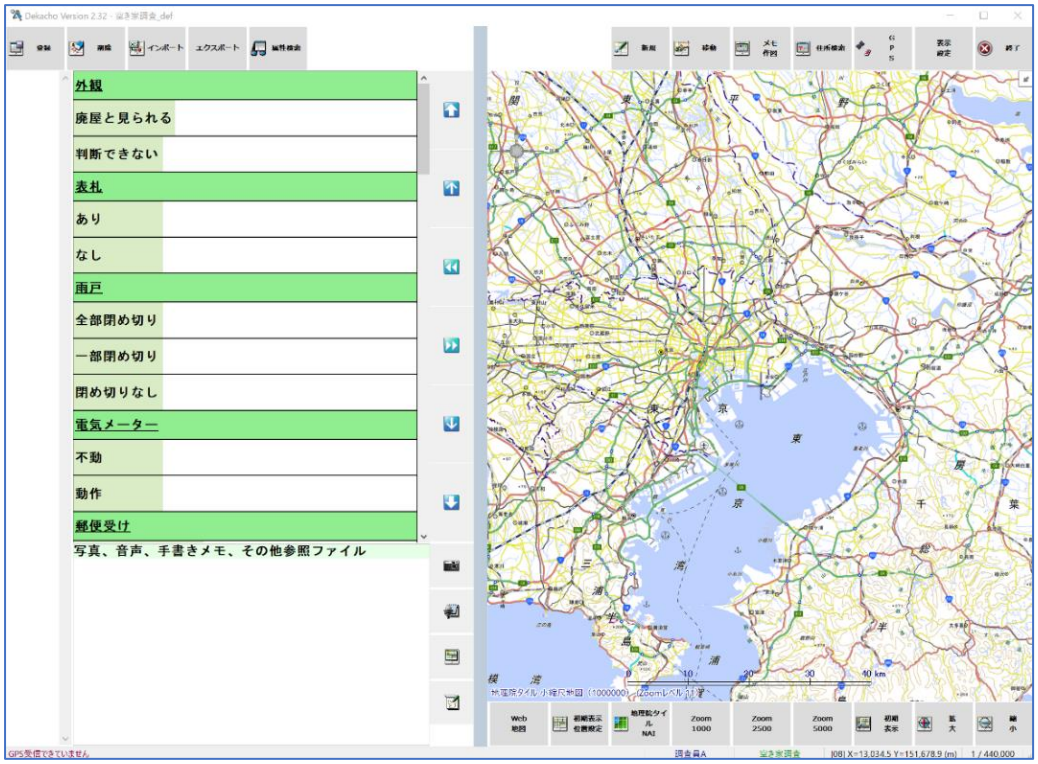


「次回起動時に開くプロジェクト」を、「新規プロジェクト生成ツール」で作成した「空き家調査.pcm」とし、「OK」ボタンを押してください。

この操作は、新しいプロジェクトを
開くときに一度だけすれば OK!

※GPS を利用して調査する場合、「Dekacho2 管理ツール」で設定する必要があります。
詳しくは『出簡調_管理設定マニュアル』「5.1.1.「管理 1」パネル」をご覧ください。

③ 「Dekacho2」を起動します。



先ほど「管理ツール」で設定した通り、ここまでに作成したプロジェクトを無事に開くことができました！

④ 実際の調査は、基本的に上図の画面内で全て行います。タブレットでも使いやすいカンタン操作で、スムーズに作業を進めることができます！詳しくは、『出簡調_取扱説明書』をご覧ください。

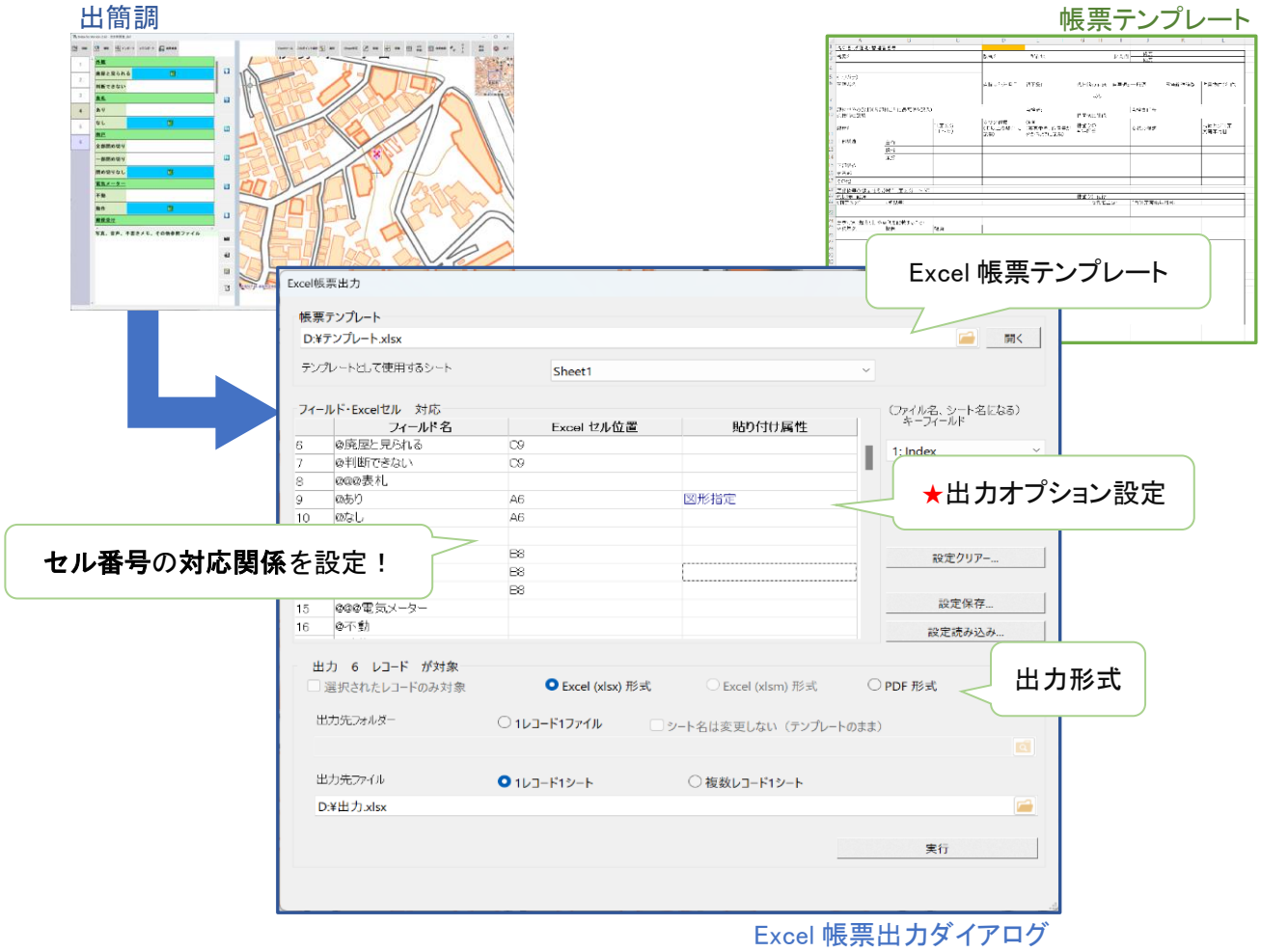
みなさんに操作してもらうのは
ここまでです。お疲れ様でした！

2.6. ステップ３「出簡調 Excel ツール（オプション）」で成果品出力

「Dekacho2」で調査した対象物のポイント形状や属性のデータは、CSV や KML 形式でエクスポートすることができます。また、有償のオプション「出簡調 Excel ツール」をご利用頂くことによって、カンタン操作で調査データを帳票形式で出力することもできます。

ここでは、出簡調 Excel ツールでどのようなことができるのかを簡単にご説明します。

① データを流し込む先の帳票テンプレートを用意します。出簡調の【Excel ツール】ボタン（コマンド：DbExcelTool ）で起動するダイアログに、**流し込むデータ**と**セル番号**の**対応関係**を設定します。



★出力オプション設定では、

フォントの指定

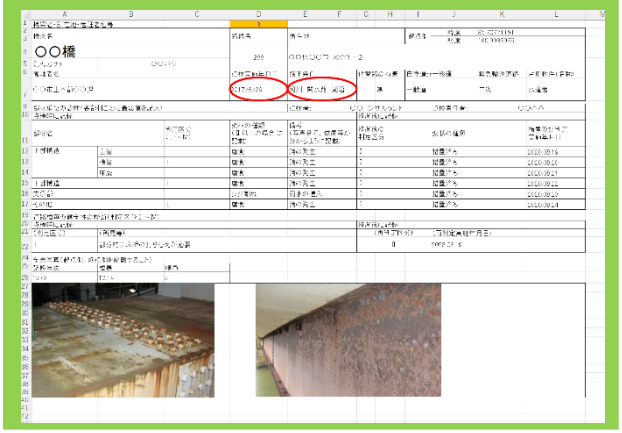
セル背景色の指定

図形の挿入（チェック入力／丸で囲む等）

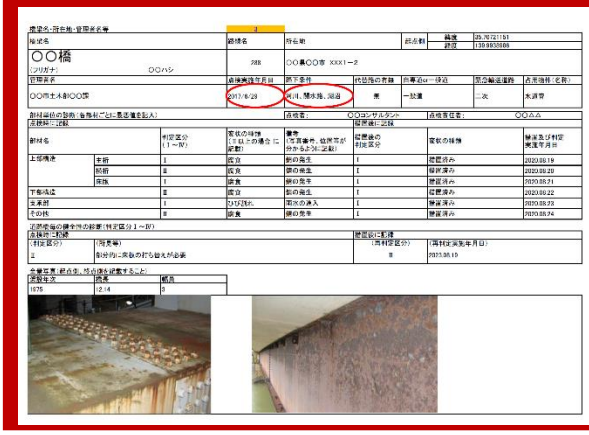
画像ファイルの挿入　等　が行えます。

② 適宜設定し、【実行】ボタンから生成をスタートすると、以下のような帳票が完成します！

Excel 帳票



PDF ファイル

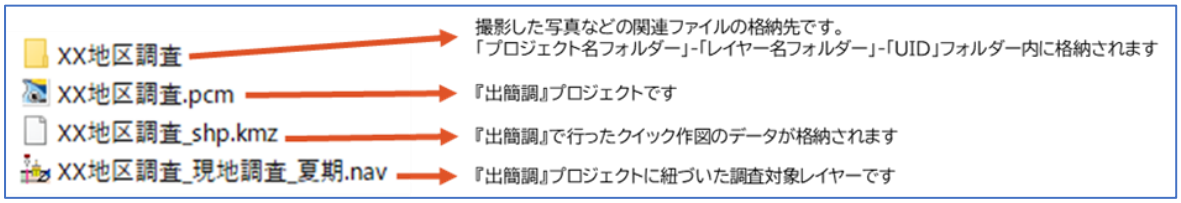


『出簡調』で調査した結果を成果品として出力する際に、ぜひご活用ください！

詳しい情報は
https://www.mapcom.tokyo/product/deka2/dekaexcel/をチェック！

～『出簡調』豆知識 ③調査用プロジェクトのフォルダ構成について～

『出簡調』では、入力や撮影を行うと自動でフォルダやファイルを生成し、データを保存します。同じ階層にデータが蓄積されるので、フォルダ単位で扱うことを心がけてください。（参考：『出簡調_管理設定マニュアル』「4.3.『出簡調』プロジェクトのフォルダ構成」）



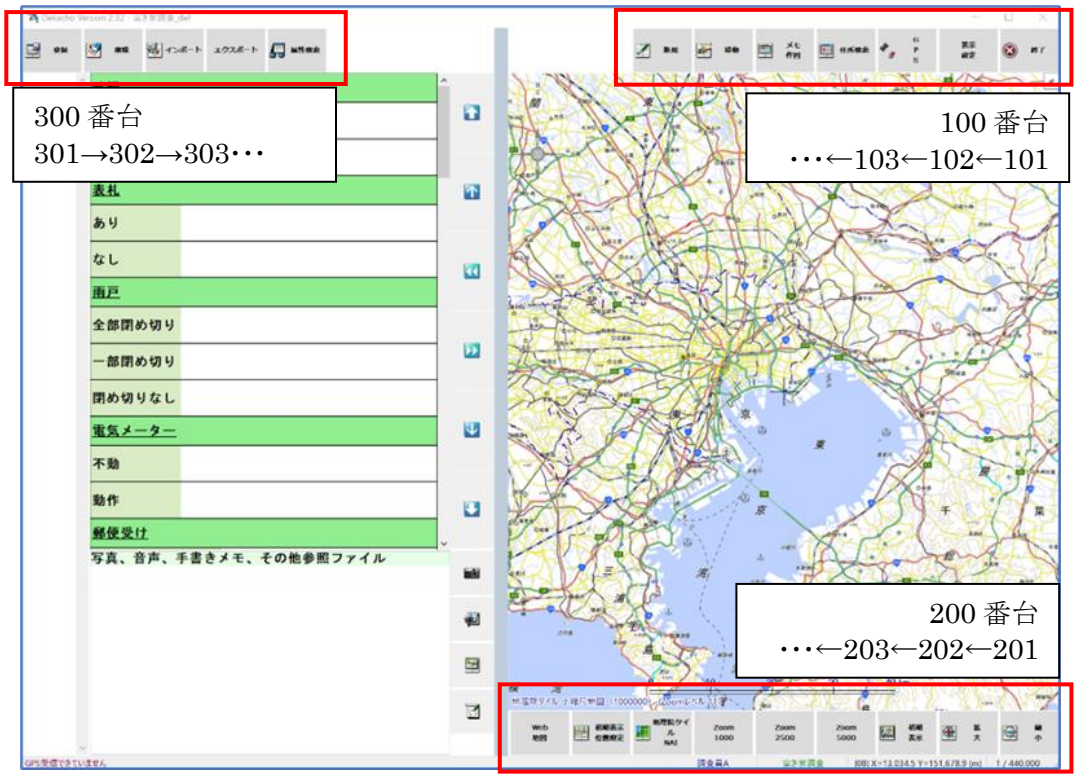
3. 『出簡調』のカスタマイズ機能・PC-MAPPING との連携

『出簡調』は様々な調査にご利用いただける汎用的なシステムです。そのため、それぞれの調査に最適な環境でご利用いただけるよう豊富なカスタマイズ機能をご用意しております。また、PC-MAPPING から『出簡調』の調査用プロジェクトを編集・設定することも可能です。『出簡調』の操作に慣れてきたらぜひチャレンジしてみてください！

ここではごく一部を取り上げて紹介します。

3.1. 「Dekacho2」メニューのカスタマイズ

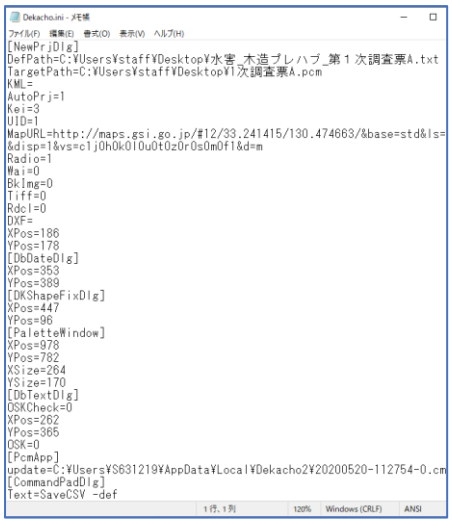
「Dekacho2」には、画面の 3 か所に各種コマンドのボタンが並んでいます（下図のように、それぞれ「100 番台」「200 番台」「300 番台」と名前がついています）。



このメニューは、「Command.prm」に各種コマンドを正しく書き込むことにより、自由にカスタマイズすることが出来ます。詳しくは『出簡調_管理設定マニュアル』「7.メニューをカスタマイズする」を参照してください。

3.2. Dekacho.ini ファイルを用いたカスタマイズ

「Dekacho.exe」と同じフォルダに生成される「Dekacho.ini」ファイルを編集することで、詳細な設定を行うことが出来ます。



「Dekacho.ini」や「Command.prm」は、「定義ファイル」と同様、メモ帳などのテキストエディタで開くことが出来るよ！

例えば、[App]セクションに
FontFace＝（フォント名）
と記入することで、「Dekacho2」で利用するフォントを指定したものに変更することが出来ます。詳しくは『出簡調_管理設定マニュアル』「6.2.Dekacho.ini ファイル」を参照してください。

3.3. PC-MAPPING との連携（オプション）

PC-MAPPING をご利用の方は、『出簡調』と併せてご利用頂くことで、スクリプトなどを介してより自由度の高いカスタマイズが可能です。

例えば、調査用プロジェクトを PC-MAPPING で開くと、『出簡調』の調査項目の入力データは、規定の記法で PC-MAPPING のデータベースに格納されます。このデータベースに対して編集を行ったり、内部スクリプトを登録して調査項目をグレーアウトさせたりといった制御が可能です。詳しくは『出簡調_管理設定マニュアル』「8.PC-MAPPING 連携機能」を参照してください。

～『出簡調』豆知識 ④起動オプションについて～

「起動オプション」とは、「Dekacho2」を起動したときに行われる操作をあらかじめ設定しておくものです。例えば、-NoSplash と設定しておくことで、起動時に表示されるスプラッシュウィンドウを表示しないようにすることができます。「Dekacho2」アイコンをロングタップし、「プロパティ」から設定してください。
（参考：『出簡調_管理設定マニュアル』「6.1.起動オプション」）

4. おわりに

4.1.　各種マニュアルのご紹介

本書では事例をもとに要点を絞って『出簡調』の利用方法を解説しました。より詳細な情報が知りたいときには、各種マニュアルを用意しておりますので、併せてご利用ください。

①　『出簡調_管理設定マニュアル』

「Dekacho 設定管理ツール」やカスタマイズ機能などを利用した『出簡調』の設定について、基本から応用まで幅広くカバーしたマニュアルです。

②　『出簡調_取扱説明書』

「Dekacho2」の利用方法について解説したマニュアルです。調査項目の入力やコマンドの使用方法など、実際の調査の際に必要な操作を一通り学ぶことができます。

本書の関連する部分に各マニュアルの参照ページを付していますので、参考にしてください。

4.2.　お問い合わせについて

『出簡調』に関するご質問など、操作サポートについては、下記サポート対応メールアドレスまでお問い合わせください。

お問い合わせ先：　query@mapcom.co.jp

株式会社マプコン
TEL：03（3523）4640
FAX：03（3523）4643
URL：https://www.mapcom.tokyo
E-Mail：info@mapcom.co.jp

【2023/03/07 修正】